

日本デザイン学会タイポグラフィ研究部会発足記念講演会

TYPOGRAPHY

—Old & New—

ボドニ&ユニバーサルデザイン書体

日本デザイン学会にタイポグラフィ研究部会が発足いたしました。タイポグラフィ研究の発展を祈念して学生や研究者が一堂に学ぶ機会を持ちたいという要望から、この分野で活躍する二人の専門家を迎えて講演会を開催することになりました。この度協力を得ました印刷博物館で開催中の企画展『百学連環』に見られるように、活版印刷術の発明以降たくさんの書物や印刷物がつくられ、同時代のさまざまな情報が読みやすく、そして美しく記録されてきました。過去と現在における書体デザインの問題を語るこの講演会によって、タイポグラフィへの理解を深め、文字と社会とのつながりを再考します。

■講演会場：印刷博物館・グーテンベルクルーム（客席 80）

（講演会参加者は企画展「百学連環」入場者となります）

■講演日時：11月24日（土）15:00～17:00

■講演題目と講演者の紹介：

講演1 『ボドニとその周辺』

田中 正明（たなか まさあき・女子美術大学名誉教授、日本デザイン学会名誉会員）

グラフィックデザイン教育・研究の第一人者。タイポグラフィ研究の成果として著書『ボドニ物語』（1998年）、『ヴィクトリア時代のタイポグラフィ』（2006年）の刊行がある。本講演では、18世紀のタイポグラフィであるボドニの書体デザインについて解説する。

講演2 『ユニバーサルデザイン書体の開発』

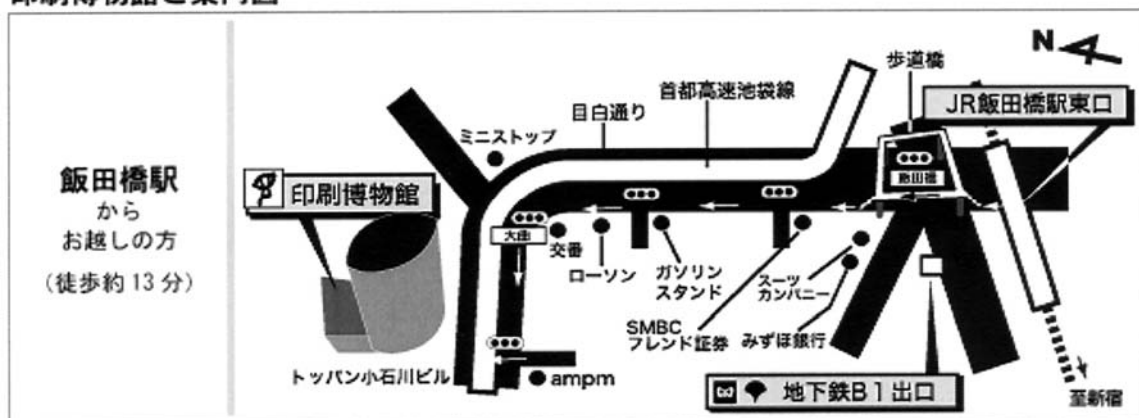
宮崎 紀郎（みやざき みちお・工学博士、元千葉大学教授、日本デザイン学会名誉会員）

新聞紙面のデザインに関する研究で博士号を取得。新聞を現代のタイポグラフィの視点で調査・分析し、読みやすい紙面デザインを提案。本講演では、ワープロ用の日本語フォントのデザインや携帯電話用にユニバーサルデザインとして開発した新書体について報告する。

■講演会来場者へのご案内

1. 講演会来場者は、印刷博物館での企画展『百学連環』会場へご入場ください。入館料は団体割引が適用されますので50円引きとなります。グーテンベルクルーム前に受付場所があります。
2. 印刷博物館への集合は、午後14時とし、印刷博物館より15分間のご挨拶と館内の見所などを説明、15時までの45分間を企画展『百学連環』見学の時間といたします。
3. また14時30分からは、VRシアターで『プランタン=モレトゥス博物館』が上映されますので、ご覧になれます。定員が30名と限られていますので、あらかじめご了解ください。※VR上映時間が12時30分から16時まで、30分おきに上映されます。
4. 講演会は15時～17時の間で開催します。博物館は、講演会が終了した後も18時までは見学が可能ですから、15時から来られた方も見学が可能です。

印刷博物館ご案内図



- お問い合わせ：印刷博物館 〒112-8531 東京都文京区水道1-3-3 Tel：03-5840-2300 (代)
日本デザイン学会タイポグラフィ研究部会 石川重遠 (幹事) Tel：029-858-9354
※タイポグラフィ研究部会では部会員を募集中です (日本デザイン学会会員に限ります)。

■主催：日本デザイン学会タイポグラフィ研究部会

■協力：印刷博物館